

日興アフリカ株式ファンド

ファンドの概要

設定日 2008年9月30日
 償還日 2018年10月10日
 決算日 原則10月10日
 収益分配 決算日毎

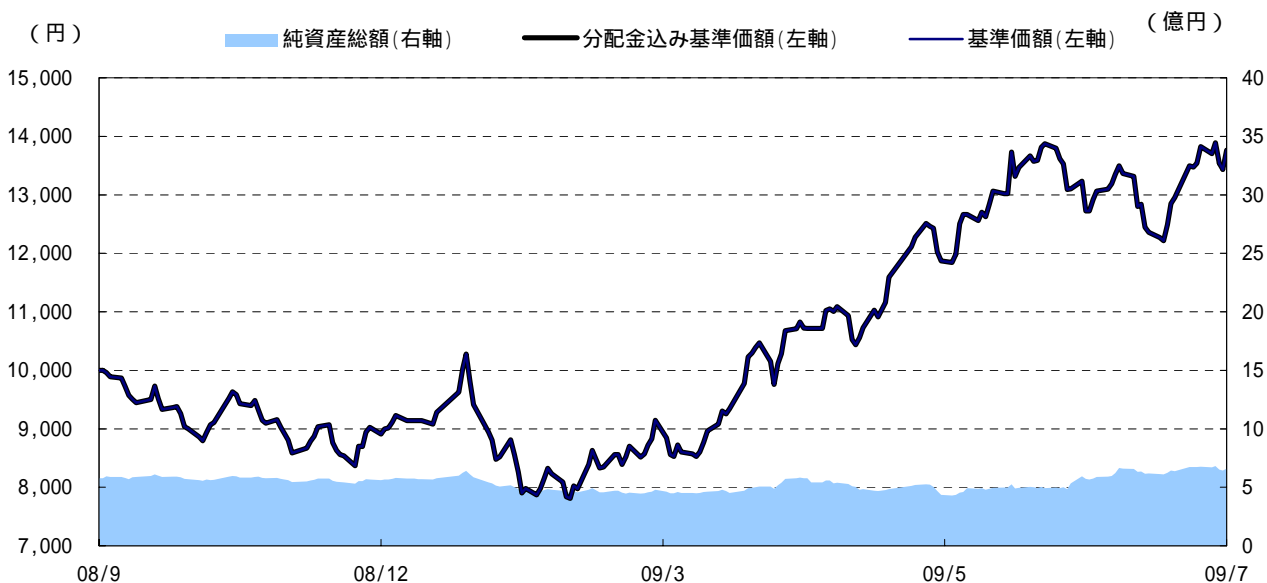
ファンドの特色

1. 高い経済成長が期待されるアフリカ諸国の株式に幅広く投資を行ないます。
2. 投資国・テーマ別の分析と個別企業の分析によって銘柄を厳選し、中長期的な信託財産の成長をめざします。
3. 実質的な運用は、アフリカ株式投資で実績のあるジュリアス・ベア・アセットマネジメントが行ないます。

運用実績

このレポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

< 基準価額の推移グラフ >



分配金込み基準価額の推移は、分配金（税引前）を再投資したものを表示しています。基準価額は、信託報酬（年率2.07675%（税抜2.015%）程度）控除後の値です。信託報酬の詳細につきましては、後述の「手数料等の概要」をご覧ください。

基準価額 : 13,766円
 純資産総額 : 6.60億円

< 基準価額の騰落率 >

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
4.37%	23.34%	67.25%	-	-	37.66%

基準価額の騰落率は、分配金（税引前）を再投資し計算しています。

< 資産構成比率 >

JB アフリカン・エクイティ・ファンド	98.5%
マネー・アセット・マザーファンド	0.5%
その他	1.0%

比率は当ファンドの純資産総額比です。

< 分配金実績（税引前） >

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

J B アフリカン・エクイティ・ファンドのポートフォリオの内容

ジュリアス・ベア・アセットマネジメントより提供された情報です。
比率は当外国投資信託の数値です。

< 資産構成比 >

株式	81.9%
現金その他	18.2%

< 株式組入上位10銘柄 > (銘柄数 41)

	銘柄名	国名	業種	比率
1	MTN Group Ltd	南アフリカ	通信	6.8%
2	First Quantum Minerals Ltd	ザンビア	素材	5.7%
3	Addax Petroleum Corp	ナイジェリア	エネルギー	5.0%
4	Sasol Ltd	南アフリカ	エネルギー	4.8%
5	Orascom Telecom Holding SAE	エジプト	通信	4.4%
6	Impala Platinum Holdings Ltd	南アフリカ	素材	4.4%
7	IAMGOLD Corp	ガーナ	素材	3.9%
8	Randgold Resources Ltd	マリ	素材	3.7%
9	Orascom Construction Industries	エジプト	製造業	3.1%
10	Commercial International Bank	エジプト	金融	2.9%

< 株式組入上位10カ国 >

	国名	比率
1	南アフリカ	28.0%
2	エジプト	17.0%
3	ザンビア	8.6%
4	モロッコ	8.1%
5	ナイジェリア	7.1%
6	ガーナ	6.4%
7	マリ	3.7%
8	チュニジア	2.9%
9		
10		

< 株式通貨別上位10通貨 >

	通貨	比率
1	南アフリカランド	27.7%
2	カナダドル	20.0%
3	エジプトポンド	15.4%
4	モロッコディルハム	8.1%
5	イギリスポンド	4.0%
6	チュニジアディナール	2.9%
7	アメリカドル	1.7%
8	ナイジェリアナイラ	1.2%
9	スイスフラン	0.8%
10		

< 株式組入上位5業種 >

	業種	比率
1	素材	26.6%
2	金融	19.5%
3	通信	15.7%
4	エネルギー	9.7%
5	製造業	6.8%

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

運用コメント

運用の概況

当月のアフリカ株式相場は、モロッコやナイジェリアなど低迷した市場もありましたが、エジプトや南アフリカなど主要な市場は、世界的な株価上昇に合わせ上昇しました。また為替相場は、対主要通貨で小幅に円高となる中で、アフリカ通貨の対円相場は、一般的に円高傾向となりました。

南アフリカの株式市場は、当月、グローバル市場に連動した展開となり、月初軟調に推移した後、堅調な値動きとなりました。政府筋では、景気後退からの回復開始時期を2009年末、今後数年間の国内総生産(GDP)の伸びを2.5%~3.5%と予測しています。一方で様々な産業で、労働者が賃上げを要求し、全国で労働争議などが散見されます。

エジプト市場も当月は、グローバル市場に連動した展開となり、後半に上昇基調で推移しました。この上昇はグローバル市場に対する楽観的センチメントによりもたらされたものです。マクロ経済の動向としては、都市部の物価上昇率は落ち着いた水準となりました。物価上昇率が落ち着いてきた背景には、消費者物価指数(CPI)の多くの部分を占める食料品価格などの落ち着きがあります。衣料品やヘルスケア製品の価格なども安定的に推移しました。スエズ運河の通航料収入については、6月は前年同月比で減収となりました。

モロッコ市場は、春先以降の上昇相場の反転などの影響もあり、世界的な強気トレンドとは裏腹に芳しくないパフォーマンスとなりました。7月の売買高は前月比でほぼ半減となるレベルに落ち込みました。2009年および2010年の株価収益率(PER)はそれぞれ17.1倍と15.5倍、2009年の予想配当利回りは3.7%となり、概ね適正なレベルと解釈しています。

ポートフォリオでは、金属市場に対するセンチメントが良好だったことが好材料となり、銅などの生産・鉱山会社への投資がプラス要因となりました。一方でナイジェリア株への投資などはマイナス寄与となりました。

今後の見通しと運用方針

今後数週間は夏シーズンの到来で売買高や市場の動きも一般的に落ち込み、穏やかな相場展開になると予想します。今後も中長期的な投資に向け、銘柄の選別を行ないます。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

当資料は、日興アセットマネジメントが当ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくために作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みメモ

- 商品分類 : 追加型投信 / 海外 / 株式
 お申込単位 : (新規申込) 10万円以上1円単位 (追加申込) 1万円以上1円単位
 別に定める場合この限りではありません。
- お申込価額 : お申込受付日の翌営業日の基準価額
 お申込不可日 : 取得申込日がルクセンブルクの銀行休業日、ヨハネスブルグ証券取引所の休業日、エジプト取引所の休業日
 (毎週金曜日はエジプト取引所の休業日となります。)に当たる場合は、取得のお申込みの受付は行ないません。
 詳しくは、日興コーディアル証券にお問い合わせください。
- 信託期間 : 2018年10月10日まで(2008年9月30日設定)
 決算日 : 毎年10月10日(休業日の場合は翌営業日)。ただし、初回決算は2009年10月13日とします。
 収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。
 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
 原則として、収益分配金は税金を差し引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。再投資を停止し、
 分配金のお受取りをご希望される場合はお申し出ください。分配金のお受取りをご希望される場合、
 日興コーディアル証券の定める所定の日よりお支払いいたします。
- ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額
 ご換金不可日 : 換金請求日がルクセンブルクの銀行休業日、ヨハネスブルグ証券取引所の休業日、エジプト取引所の休業日
 (毎週金曜日はエジプト取引所の休業日となります。)に当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。
 詳しくは、日興コーディアル証券にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して8営業日目からお支払いします。
 お申込・ご換金制限 : 受益者保護の観点から運用上の支障をきたさないようにするため、取得・換金申込み総額について委託会社が
 多額と判断した場合、受付時間制限および金額制限を行なう場合があります。
- 課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。
 課税上は、株式投資信託として取り扱われます。
 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

手数料等の概要

- お客様には、以下の費用をご負担いただきます。
- <お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>
- お申込手数料 : お申込手数料率は、お申込金額に応じて、以下のようになります。
- | | | |
|-------------|---------|-----------|
| 1億円未満 | 3.675% | (税抜3.5%) |
| 1億円以上5億円未満 | 2.1% | (税抜2.0%) |
| 5億円以上10億円未満 | 1.05% | (税抜1.0%) |
| 10億円以上 | 0.7875% | (税抜0.75%) |
- 別に定める場合この限りではありません。
- 換金手数料 : ありません。
 信託財産留保額 : ありません。
- <信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>
- 信託報酬 : 純資産総額に対して年率2.07675%(税抜2.015%)程度を乗じて得た額が実質的な信託報酬となります。
 信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.29675%(税抜1.235%)、投資対象とする投資
 信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.78%程度となります。受益者が実質的に負担する信託報酬
 率(年率)は、投資対象とする投資信託証券の組入比率などにより変動します。
 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- その他費用 : 組入る有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息 など
 その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
 当ファンドの手数料などの合計額については、投資家の皆様はファンドを保有される期間などに応じて異なります
 ので、表示することができません。
 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社
 受託会社 : 中央三井アセット信託銀行株式会社(再信託受託会社: 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社)
 販売会社 : 日興コーディアル証券株式会社

お申込みに際しての留意事項
リスク情報

- 当ファンドは、主に投資信託証券に投資を行ない、投資対象とする投資信託証券は、主に株
 式など値動きのある証券(外貨建証券は為替変動リスクもあります。)を投資対象としてい
 るため、基準価額は変動します。特に投資する新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格
 変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。したがっ
 て、元金を割り込むことがあります。
- 投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

一般に株式の価格は、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。ファ
 ンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が
 生じるリスクがあります。

一般に公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した
 場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その
 価格変動は、残存期間・発行条件などによりばらつきがあります。

【流動性リスク】

市場規模や取引量が少ない場合、組入銘柄を売却する際に市場実勢から期待される価格で売
 却できず、不測の損失を被るリスクがあります。

一般に新興国の株式は、先進国の株式と比較して、市場規模や取引量が少ないため、相対的
 に流動性リスクが高いと考えられます。

【信用リスク】

一般に投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。

一般に公社債および短期金融資産にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格は下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【為替変動リスク】

外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

【カントリー・リスク】

投資対象国である新興国における非常事態など（金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。

情報の開示などの基準が先進国とは異なることから、投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。

ファンドの投資対象株式が上場または取引されている諸国の税制が先進国と異なる場合があります。また、それらの諸国における税制が一方的に変更されたり、新たな税制が適用されたりすることもあります。以上のような要因は、ファンドの信託財産の価値に影響を与える可能性があります。

ファンドの投資対象国においては、政府当局が様々な規制を一方的に導入することがあるほか、投資対象株式が取引されている市場、証券決済の仕組み、海外からの送金規制、法規制などに関する制度が先進国と異なる場合があることから、運用上予期しない制約を受ける可能性があります。特に証券決済の仕組みがDVP取引（証券取引において証券の受渡しと資金決済を同時に行なう取引）を導入していない場合、予定された期日に取引相手先から取引対象資産の受渡しがされない場合があります。

ファンドは、実質的な株式の組入れが高位となるよう投資を行なうことを基本としますが、ファンドの投資対象国によっては、投資のための口座開設にかかる認可がおりるまでに時間を要する国もあることから、当該投資対象国に上場している株式への投資が若干遅れる可能性があります。ファンドの投資方針に従った運用ができない場合があります。

ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

その他の留意事項

- ・当資料は、日興アセットマネジメントが「日興アフリカ株式ファンド」の投資信託説明書（交付目論見書）を補足することなどを目的とし、投資家の皆様に当ファンドへのご理解を高めさせていただくために作成した販売用資料です。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、販売会社より、投資信託説明書（交付目論見書）などをあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ず詳細をご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は 日興アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
 加入協会：（社）投資信託協会
 （社）日本証券投資顧問業協会

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会		
		日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第129号		